

備前市事務事業評価表

事務事業名	栽培・養殖事業		コード	日生総合支所産業課水産係
			04-01-03-02	担当者 濱山 一 泰
事業実施期間	昭和59年度～		電話	0869-72-1254
総合計画 事業（政策）体系	大項目	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり		
	中項目	豊かな食を支えるまちづくり		
	小項目	水産業		
	施策	栽培漁業・養殖漁業の振興		

事業について	
目的	漁業資源の回復と安定的な漁獲量を維持するため、岡山県栽培漁業センターで生産するとともに、尻海・大畠中間育成場で中間育成された種苗を放流し、水産物の安定供給の確保及び漁業生産・経営の安定と向上に資するため、栽培漁業を計画的かつ効果的に推進する。
対象（誰のために）	漁業者
内容	種苗生産、中間育成及び放流等の事業に対する負担金等

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
直接放流	987 千尾		
中間育成放流	1,123 千尾		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,422	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,359	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	2,781	一般財源等	2,781	合計	0	一般財源等	0

結果指標①	必要人員	0.14	人		
	結果指標名	放流尾数			
	結果指標量	2,110			
	単位	千尾			
	対前年比	0.00%			
	事業費	2,781,000	円		
	単位当たりコスト①	1,318	円		

結果指標②	結果指標名	放流魚種の漁獲量			
	結果指標量				
	単位	式又は説明			
	対前年比	0.00%			
	事業費		円		
	単位当たりコスト②		円		

事業の成果	17年度		
成果指標名	放流魚種の漁獲量	式又は説明	放流魚種の漁獲量
成果指標量	69		
対前年比	0.00%		
到達目標値	70トン	到達目標年度	毎年

事務事業の評価		(平成17年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：沿岸漁場整備開発法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	栽培漁業は「つくり育てる漁業」の中核をなす施策であり、これまでの放流によって、漁獲量の安定、増大のみならず天然魚を含めた資源管理意識も漁業関係者には浸透している。今後、サワラ等、種苗生産対象種の追加と広く一般にも栽培漁業及び資源の育成及び管理の重要性について普及啓発を積極的に行う。	評価区分 <A~E> C
------	---	--------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	2300千尾	結果指標量②	
目標値	結果指標量	70トン	

改善事項	改善内容			改善時期	改善により期待される効果
評価の視点					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。